

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースの関係で適切である	8	1階と2階に分かれている間取りであるため、活動内容に応じて有効活用しております。	
	2	職員の配置数は適切である	8	基準人員に加え保育士、理学療法士の加配体制を整備しております。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	8	2階へは階段を使用する必要がありますが、1階フロアがメインの指導訓練室となっております。安全確保のため、保護者様の同意を得て入口ドアの施錠の設定を行っております。また、入口ドアにベビーサークルを設置し、安全面の強化を図っております。	
業務改善	4	業務改善を進めるためPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加している	8	毎日、サービス提供時間前に全職員が集まり、利用児童の支援について話し合いを設けております。また、定期的に会議を行い、評価や課題分析・日々の振り返りや業務改善についても話し合い共通理解に努めています。	
	5	保護者様向け評価表を活用するなどによりアンケート調査を実施して保護者様の意向等を把握し、業務改善につなげている	8	保護者様アンケート調査により、可能な限り業務改善へ繋げることができるよう努めております。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報や公式Webサイト等で公開している	8	COMPASS発達支援センター公式Webサイトにて公開しております。	今後も公式Webサイトで公開してまいります。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	8	現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	年間予定を立て、事業所内の職員研修は定期的に行っております。コロナ禍のため機会は減っていますが、内部・外部の研修（オンライン配信）に積極的に参加し、資質の向上に努め、情報共有を行っております。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、児童と保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8	アセスメントにて状況の把握を行い、児童や保護者様のニーズに寄り添った計画となるよう努めております。	
	10	児童の適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8	標準化されたアセスメントシートを使用し、状況の把握に努めております。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	8	毎月職員会議を行い、各職員からアイデアを出し合いプログラムを立案しております。立案した際には、役割分担を明確にして、チームで協力しながら行っております。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	通常の療育内容と運動療育を組み合わせた活動に取り組んでおります。また、季節に合わせた制作活動も行っております。長期休み期間は、いろいろな活動ができる期間でもありますので、職員間で活動内容を勘案し、イベントも取り入れております。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	8	平日は時間に限りがありますが、長期休暇に関しては集団療育に取り組む事が可能ですので、スケジュール設定を行い、支援を行っております。	
	14	児童の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	8	個々の課題克服へ向けた個別活動の時間が主となりますが、集団活動を通して社会性、協調性について学んでいけるよう作成しております。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8	前日の振り返りを元に、昼礼時に打ち合わせを行い、役割分担の確認を行っております。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8	前日の振り返りを元に、昼礼時に打ち合わせを行い、役割分担の確認を行っております。	
	17	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	記録は各児童ごとにその日のうちに都度行っております。記録により児童の状況の振り返りができております。	
関係機関や保護者様との連携	18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8	6ヶ月以内に必ずモニタリングを行い、児童発達管理責任者と療育担当者が現状の児童の成長や、保護者様からいただいた情報等を加味しながら、個別支援計画の見直しを行っております。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	8	ガイドラインの基本活動を基本としてとらえ、色々な活動を経験していくことが出来るよう支援を行っております。	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその児童の状況に精通した最もふさわしい者が参加している	8	担当者会議には児童の状況を一番把握している児童発達支援管理責任者が参加しております。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、児童の下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	8	下校時間や学校行事について等の情報共有から送迎等を円滑に行えるよう努めております。	
	22	医療的ケアが必要な児童を受け入れる場合は、児童の主治医等と連絡体制を整えている	8	現在医療的ケアが必要な児童は在籍しておりません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	8	必要に応じて、関係機関と連絡を取り合い、情報共有や総理解をしていきます。	今後、保護者様や相談員との連携の元、必要な場合は情報共有の場を持って行きたいと考えております。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	8	現在までに該当する児童がいないため、情報提供には至っておりません。	今後、保護者様や相談員との連携の元、必要な場合は情報共有の場を持って行きたいと考えております。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8	事業所を併用している児童については、担当者会議で情報共有を行ったり、相談支援専門員を通して様子を伺い情報を収集しております。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流など外部との活動する機会がある	8	現在までに外部との交流はありません。	感染症へのリスクもあり、交流は行えていませんが、今後は保護者様の意向を踏まえて交流の機会を検討してまいります。
保護者様への説明責任等	27	（自立支援）協議会子ども部会や地域の協定・子育て会議等へ積極的に参加している	8	コロナ禍でもあり、参加機会はありませんでした。	コロナ収束後、研修が行われる際は、積極的に参加してまいります。
	28	日頃から児童の状況を保護者様と伝え合い、児童の発達状況や課題について共通理解を保持している	8	送迎時や連絡帳にて活動の様子などをお伝えし、児童の発達状況や課題について共通理解に努めております。	
	29	保護者様の対応力の向上を図る観点から、保護者様に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	8	保護者様からのお悩みを傾聴して、ご相談内容によって電話や面談等を行い、その状況に応じて丁寧な対応を心掛けております。	
	30	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8	契約時には運営規定、利用者負担等について丁寧な説明に努めております。また、契約のみならず保護者様のご要望があるときは、再度わかりやすく丁寧に説明しております。	
	31	保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8	連絡帳や送迎時にいつでもご相談いただけるように日頃からコミュニケーションを大切にしております。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催したりするなどにより、保護者様同士の連携を支援している	8	今年度はコロナ禍のため父母の会を開催する機会はありませんでした。	コロナ収束後には、プライバシー保護の観点からも開催にはアンケート等を実施し、保護者様のご意向等を確認したうえで検討し、決定してまいります。また事業所全体では、配信サービスを活用して全国のCOMPASSの保護者様の声を共有できるように努めてまいります。
	33	児童や保護者様からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8	苦情というよりも、相談という形が多くありますので、相談援助が迅速にできるよう努めております。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を児童や保護者様に対して発信している	8	公式Webサイトのブログにて事業所の様子をお伝えしております。また年4回「COMPASSだより」を季刊発行しております。連絡帳で行事予定やお知らせ、毎月の様子を写真とともに分かりやすく事業所おたよりとして掲載、配布しております。	
	35	個人情報の取扱いに十分注意している	8	個人情報記載の書類は鍵付き書庫や管理の行き届く環境で保管し、情報流出がないように取り扱いは慎重に行っております。掲載等、個人情報に係ることに際しては、その都度事前の確認をさせていただきます、保護者様に同意を得ております。	
非常時等の対応	36	障がいのある児童や保護者様のための配慮を行っている	8	児童には状況や特性に合わせた伝達方法を心がけ、保護者様にはわかりやすいご説明や情報伝達を心がけております。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	8	コロナ禍でもあり、現時点では事業所行事に地域住民を招待する企画は実施できておりません。	現在は感染症リスク、プライバシーの保護の観点からも保護者様の理解が難しい部分もあるため、慎重に検討してまいります。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル等を策定し、職員や保護者様に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	8	各種マニュアルはいつでも確認できるよう入口に設置しております。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8	各種マニュアルや対策は、事業所に掲示するとともに、定期的な訓練の実施に基づいて見直しをおこなっております。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	虐待防止委員会を設置し、虐待防止についての研修、身体拘束適正化についての研修を全職員が参加しております。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、児童や保護者様に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	8	身体拘束の必要性のある児童は現段階ではありませんが、今後の状況に合わせた必要が生じた場合は、保護者様に説明を行い、方向性について共通認識を得ることができるよう努めてまいります。	
	42	食物アレルギーのある児童について、医師の指示書に基づく対応がされている	8	アレルギー調査票にて確認を済ませ、アレルギー一覧を作成し、職員全体で把握し対応を行っております。	
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8	ヒヤリハット報告書の作成、保管を行い、職員で話し合う場を設定し、再発防止に努めております。		

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。